

26 原発性骨髄線維症に対するサリドマイド治療 (5分) (16:20-16:25)

九州大学病態修復内科、国立病院機構大牟田病院 原田実根  
九州大学病態修復内科、宮崎大学消化器血液内科 幣 光太郎  
宮崎大学消化器血液内科 久富木庸子、○下田和哉  
九州大学病態修復内科 竹中克人  
慶應義塾大学内科 服部 豊、岡本真一郎  
久留米大学血液内科 岡村 孝

27 HSP47 を標的とする siRNA を用いた骨髄線維症治療の試み (5分) (16:25-16:30)

札幌医科大学内科学第4講座 新津洋司郎、○松永卓也

小児科領域

座長 中畑龍俊

28 研究進捗状況と本年度の研究計画について (5分) (16:30-16:35)

京都大学大学院医学系研究科発達小児科学 中畑龍俊

29 小児のRAEB/AML-M6 症候群について (5分) (16:35-16:40)

京都大学小児科 中畑龍俊  
東邦大学大森病院輸血部 小原 明  
名古屋大学小児科 小島勢二  
聖路加国際病院小児科 ○真部 淳

30 Dyskeratosis Congenita 全国調査：小児血液学会 2006 年 (5分) (16:40-16:45)

東邦大学小児科 ○小原 明  
日本医科大学小児科 前田美穂  
名古屋大学小児科 小島勢二  
京都大学小児科 中畑龍俊

31 後天性再生不良性貧血に対する非血縁間骨髄および臍帯血移植：Up to date (5分) (16:45-16:50)

名古屋大学小児科 ○小島勢二、谷ヶ崎 博、高橋義行  
名古屋大学 造血細胞移植情報管理学 吉見礼美  
東海大学医学部 基盤診療学系再生医療科学 加藤俊一  
名古屋第1赤十字病院内科 小寺良尚

造血幹細胞移植領域

座長 岡本真一郎

32 研究進捗状況と本年度の研究計画について (10分) (16:50-17:00)

慶應義塾大学医学部血液内科 岡本真一郎

輸血後鉄過剰症と鉄キレート療法

座長 小澤敬也

33 特別講演 (30分) (17:00-17:30)

### 生体鉄代謝・鉄過剰研究の進歩

旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学 高後 裕

34 鉄キレート療法の併用により輸血回数が減少したMDS (RARS) 症例 (5分) (17:30-17:35)

長崎大学医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設  
朝長万左男、○波多智子、宮崎泰司

35 輸血後鉄過剰症の疫学調査結果と診療ガイドラインの提案 (15分) (17:35-17:50)

自治医科大学内科学講座血液学部門 ○小澤敬也、鈴木隆浩  
長崎大学原研内科 朝長万左男、宮崎泰司  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾真二  
東京医科大学血液内科 大屋敷一馬  
大阪大学血液・腫瘍内科学 松村 到  
旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学 高後 裕

**36** 事務連絡 (5分) (17:50-17:55) 特発性造血障害調査研究班・事務局 鈴木隆浩

**37** 閉会の挨拶 (5分) (17:55-18:00) 小澤敬也

---

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

**特発性造血障害に関する調査研究**

(主任研究者 小澤敬也)

および

**重点研究**

**骨髄異形成症候群に対する  
病態解明・治療法の開発に関する研究**

(主任研究者 三谷絹子)

**平成19年度 第2回合同班会議総会**

平成20年2月15日(金) 9:00~17:15

アステラス製薬本社 2階ホール

(東京都中央区日本橋本町2-3-11)

**平成19年度 第2回合同班員会議**

平成20年2月14日(木) 18:00~

アステラス製薬本社 313会議室

(別途御案内の先生方には、御出席をお願い致します。)

**事務局**

**《特発性造血障害に関する調査研究班》**

自治医科大学 内科学講座血液学部門

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

TEL: 0285-58-7353 / FAX: 0285-44-5258

URL: <http://www.jichi.ac.jp/zoketsushogaihan>

E-mail: [kozawa@ms2.jichi.ac.jp](mailto:kozawa@ms2.jichi.ac.jp) (小澤敬也)

[tasuzuki@jichi.ac.jp](mailto:tasuzuki@jichi.ac.jp) (鈴木隆浩)

[motokoy@jichi.ac.jp](mailto:motokoy@jichi.ac.jp) (吉田元子)



特発性造血障害班

**《重点研究：骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法の開発に関する研究班》**

獨協医科大学 内科学(血液)

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

TEL: 0282-86-1111 (内線 2744) / FAX: 0282-86-5630

E-mail: [kinukom-tky@umin.ac.jp](mailto:kinukom-tky@umin.ac.jp) (三谷絹子)



御発表に際して：

- (1) CD、あるいはUSBメモリによるデータを受付に御提出下さい。
- (2) 配布資料は、表紙右肩に□で囲んだ演題番号を記したものを、130部御用意下さい。
- (3) 割り当て時間は発表と討論を含みますので、討論の時間を残すようにコンパクトに御発表下さい

## 会場の御案内



アステラス製薬株式会社本社

東京都中央区日本橋本町2-3-11

東京メトロ三越前駅

A6出口（銀座線プラットホーム寄り）から3分

※半蔵門線を御利用の方は上記出口を御利用下さい。

東京メトロ小伝馬町駅3番出口から10分

JR神田駅東口出口から15分

JR新日本橋駅3番出口から10分

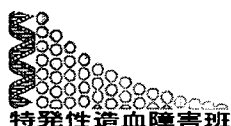
※駐車場はございませんので、お車での御来場は御遠慮下さい。

## 造血障害班 ホームページの御案内

当研究班では、皆様への情報の御提供のため、ホームページを開設しております。

どうぞ御利用下さい。

URL <http://www.jichi.ac.jp/zoketsushogaihan/>  
 ID zoketsu  
 Password jichi



特発性造血障害班

プログラム

- 開会の挨拶 (5分) (9:00-9:05) 小澤敬也
- 厚生労働省 挨拶 (5分) (9:05-9:10) 健康局疾病対策課

- 1 特発性造血障害に関する調査研究班 班長報告 (10分) (9:10-9:20)  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

再生不良性貧血領域 座長 中尾眞二

- 2 研究全体の総括 (5分) (9:20-9:25)  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二

- 3 臨床調査個人票における再生不良性貧血の特徴 (10分) (9:25-9:35)  
東邦大学医学部衛生学教室 ○杉田 稔  
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 島田直樹  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二  
埼玉医科大学医学部公衆衛生学 永井正規  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

- 4 「成人再生不良性貧血における免疫病態マーカーの意義を明らかにするための多施設共同前方視的臨床試験」進捗状況 (5分) (9:35-9:40)  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二、○山崎宏人、杉森尚美、石山 謙

- 5 PNH型血球検出を利用した病態診断の新たな応用 (10分) (9:40-9:50)  
1. 同種造血幹細胞移植後のドナー型 late graft failure  
2. 骨髄巨核球低形成を伴う血小板減少症  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 ○中尾眞二、山崎宏人、杉森尚美、石山 謙

- 6 赤芽球癆の全国アンケート調査集計結果とその解析:続発性 PRCA:顆粒リンパ球増多症 (10分) (9:50-10:00)  
秋田大学第三内科 澤田賢一、廣川 誠、○藤島直仁  
順天堂大学血液内科 押味和夫  
埼玉医科大学国際医療センター造血器腫瘍科 松田 晃  
東京女子医科大学血液内科 寺村正尚  
群馬大学医学部附属病院輸血部 唐沢正光  
東京医科歯科大学血液内科 新井文子  
熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 米村雄士  
金沢大学大学院医学系研究科細胞移植学 中尾眞二  
NTT 関東病院 浦部晶夫  
昭和大学藤が丘病院 小峰光博  
自治医科大学内科学講座血液学部門 小澤敬也

不応性貧血領域 座長 内山 卓

- 7 研究全体の総括 (5分) (10:00-10:05)  
京都大学内科学講座血液・腫瘍内科学 内山 卓

- 8 再生不良性貧血/骨髓異形成症候群の前方視的症例登録・セントラルレビュー・追跡調査研究の進捗状況 (10分) (10:05-10:15)

京都大学内科学講座血液・腫瘍内科学  
自治医科大学内科学講座血液学部門  
埼玉医科大学国際医療センター血液内科

内山 卓、○石川隆之  
小澤敬也  
松田 晃

- 9 不応性貧血(骨髓異形成症候群)の形態学的異形成に基づく診断確度区分 (10分) (10:15-10:25)

埼玉医科大学国際医療センター血液内科  
長崎大学原研内科  
埼玉医科大学血液内科  
川崎医科大学検査診断学

○松田 晃、陣内逸郎  
朝長万左男、宮崎泰司、波多智子、對馬秀樹  
別所正美、荒関かやの  
通山 薫

- 10 骨髓異形成症候群と再生不良性貧血患者に対する免疫抑制療法の長期経過の検討 (10分) (10:25-10:35)  
長崎大学原研内科

朝長万左男、○波多智子、對馬秀樹、宮崎泰司

座長 朝長万左男

- 11 スフィンゴ脂質代謝酵素スフィンゴシンキナーゼ1の発現レベルと抗がん剤ダウノルビシン感受性との相関 (10分) (10:35-10:45)

名古屋大学医学部保健学科  
岐阜大学医学部細胞情報  
名古屋大学医学部血液腫瘍内科

○村手 隆、祖父江沙矢加、高木 明、小嶋哲人  
根本 聡、坂野喜子  
安部明弘、直江知樹

- 12 骨髓異形成症候群由来細胞株 MDS-L に対する lenalidomide の影響 (10分) (10:45-10:55)

川崎医科大学検査診断学

通山 薫、○松岡亮仁、近藤敏範、辻岡貴之  
田坂大象

- 13 Evi-1による造血制御機構の解明 (10分) (10:55-11:05)

東京大学医学部付属病院血液・腫瘍内科

黒川峰夫、○合山 進、山本 豪、島辺宗健  
佐藤智彦、市川 幹、小川誠司、千葉 滋

- 14 C/EBP $\alpha$  変異パターンによるAMLおよびMDS病型の解析 (10分) (11:05-11:15)

広島大学原医研血液内科  
広島大学病院血液内科  
広島大学原医研国際放射線情報センター

木村昭郎  
○原田浩徳  
原田結花

骨髓線維症領域

座長 原田実根

- 15 研究全体の総括 (5分) (11:15-11:20)

国立大牟田病院

原田実根

- 16 本邦の原発性骨髓線維症の臨床像 (10分) (11:20-11:30)

国立大牟田病院  
宮崎大学消化器血液内科  
久留米大学血液内科

原田実根  
幣光太郎、○下田和哉  
岡村 孝

- 17 変異 JAK2 の発現量が慢性骨髓増殖性疾患の病型を決定する (10分) (11:30-11:40)

国立大牟田病院  
宮崎大学消化器血液内科  
九州大学病態修復内科  
久留米大学血液内科  
久留米大学病理

原田実根  
幣光太郎、下田晴子、亀田拓郎、○下田和哉  
竹中克斗、熊野 孝、奥 誠道  
岡村 孝  
加留部謙之輔、大島孝一

- [18] 原発性骨髄線維症の血小板における JAK2-V617F 遺伝子変異の検討 (10分) (11:40-11:50)  
 群馬大学輸血部 唐沢正光  
 群馬大学血液内科 ○外山耕太郎、斉藤明生、中橋寛隆、塚本憲史  
 野島美久
- [19] JAK2 または MPL 遺伝子変異を有する MPD 症例の造血コロニーの検討 (10分) (11:50-12:00)  
 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター ○大橋春彦、深見晶子、小栗佳代子、堀田知光



12:00~13:00

lunch time



重点研究「骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法の開発に関する研究」班 座長 三谷絹子

- [20] 班長報告 (10分) (13:00-13:10)  
 獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子
- [21] 「骨髄異形成症候群に対する検体集積事業ならびに遺伝子解析研究」進捗状況 (10分) (13:10-13:20)  
 京都大学内科学講座血液・腫瘍内科学 内山 卓、○石川隆之  
 獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子、山形哲也
- [22] International Working Group on MDS Cytogenetics-今後の検討課題 (5分) (13:20-13:25)  
 東京医科大学内科学第1講座 ○大屋敷一馬
- [23] MDS 細胞における経口鉄キレート剤の分子機構の解明 (10分) (13:25-13:35)  
 東京医科大学内科学第1講座 ○大屋敷一馬  
 東京医科大学難治性免疫疾患研究センター 大屋敷純子
- [24] AML からみた”異形成”と遺伝子異常 (10分) (13:35-13:45)  
 名古屋大学血液・腫瘍内科学 ○直江知樹、富田章裕、清井 仁
- [25] 7番染色体長腕の Miki 隣接遺伝子欠損マウスは MDS/AML を多発する (10分) (13:45-13:55)  
 広島大学原爆放射線医科学研究所がん分子病態研究分野 稲葉俊哉、○麻生博也、本田浩章、松井啓隆  
 長町安希子、尾崎佑子
- [26] プロテオミクスを用いた MDS 関連蛋白の同定とその解析 (10分) (13:55-14:05)  
 東京女子医科大学血液内科 泉二登志子、○寺村正尚、風間啓至
- [27] MDS における microRNA の発現 (10分) (14:05-14:15)  
 獨協医科大学内科学 (血液) 三谷絹子、○山形哲也
- [28] MDS における UPD とその標的遺伝子 (10分) (14:15-14:25)  
 東京大学 21 世紀 COE プログラム 小川誠司、○真田 昌

溶血性貧血領域

座長 金倉 譲

- [29] 研究全体の総括 (5分) (14:25-14:30)  
 大阪大学血液・腫瘍内科 金倉 譲
- [30] PNH 研究 (Eculizumab 臨床試験、I-PIG、J-PIG、PNH Registry、PNH 診療の参照ガイド、日米共同研究) の近況報告 (10分) (14:30-14:40)  
 大阪大学血液・腫瘍内科 金倉 譲、○西村純一

【指定発言1】 Eculizumabの本邦での治験についての補足 (5分) (14:40-14:45)

昭和大学藤が丘病院

○小峰光博

【指定発言2】 I-PIGの近況報告 (5分) (14:45-14:50)

大阪大学微生物病研究所

○木下タロウ

31 補体阻害剤 (Eculizumab) の臨床応用に向けた研究 (10分) (14:50-15:00)

大阪大学血液・腫瘍内科

金倉 譲

Alexion社

Russell Rother

デューク大学医療センター内科

○西村純一、Nelson Chao

32 発作性夜間血色素尿症 (PNH) における異常細胞の拡大機序について (10分) (15:00-15:10)

大阪大学微生物病研究所

木下タロウ、○村上良子、井上徳光

33 発作性夜間血色素尿症および再生不良性貧血における NKG2D 介在性免疫による造血障害 (10分) (15:10-15:20)

和歌山県立医科大学 輸血・血液疾患治療部 (血液内科) ○中熊秀喜、花岡伸佳

熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部、輸血部 川口辰哉、米村雄士

34 クームス陰性自己免疫性溶血性貧血診断における赤血球結合 IgG カットオフ値 (10分) (15:20-15:30)

自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門

梶井英治、○亀崎豊実、小山田隆



15:30~15:50

coffee break



小児科領域

座長 中畑龍俊

35 研究全体の総括 (5分) (15:50-15:55)

京都大学大学院医学研究科発達小児科学

中畑龍俊

36 小児 MDS セントラルレビューのまとめ (10分) (15:55-16:05)

京都大学大学院医学研究科発達小児科学

中畑龍俊

東邦大学大森病院小児科・輸血部

小原 明

名古屋大学大学院医学系研究科小児科学

小島勢二

聖路加国際病院小児科

○真部 淳

37 小児期造血障害疫学調査; 日本小児血液学会登録症例 1,411 例 (1988-2005 年) 解析 (10分) (16:05-16:15)

東邦大学大森病院小児科・輸血部

○小原 明

名古屋大学大学院医学系研究科小児科学

小島勢二

京都大学大学院医学研究科発達小児科学

中畑龍俊

38 前方視的治療研究開始後における再生不良性貧血から monosomy7 をともなう骨髓異形成症候群への移行例の減少 (10分) (16:15-16:25)

名古屋大学大学院医学系研究科小児科学

○小島勢二、高橋義行、谷ヶ崎 博

東邦大学大森病院小児科・輸血部

小原 明

京都大学大学院医学研究科発達小児科学

中畑龍俊

39 Heat shock 蛋白 90 (Hsp90) による複製ストレス応答の制御と造血疾患: ファンコニ貧血 (FA) 蛋白と

Y-family DNA ポリメラーゼによる損傷乗り越え合成 (translesion synthesis, TLS) (10分) (16:25-16:35)

群馬大学生体調節研究所

○山下孝之、小田 司、関本隆志



造血幹細胞移植領域

座長 岡本真一郎

40 研究全体の総括 (10分) (16:35-16:45)  
慶應義塾大学医学部血液内科

岡本真一郎

41 同種造血幹細胞移植後早期のドナー型キメリズム達成に及ぼす移植前処置と造血細胞源の影響  
(10分) (16:45-16:55)  
北海道大学大学院医学研究科血液内科学

今村雅寛、○杉田純一、田中淳司

42 間葉系幹細胞による GVHD 制御のメカニズム (10分) (16:55-17:05)  
自治医科大学内科学講座血液学部門

小澤敬也、○佐藤一也、尾崎勝俊

事務連絡 (5分) (17:05-17:10)

事務局 鈴木隆浩


閉会の挨拶 (5分) (17:10-17:15)

小澤敬也


>>>> 班会議終了後、貸し切りバス2台で有楽町よみうりホールへ移動 <<<<

# Biolron2007 京都 フォローアップ シンポジウム

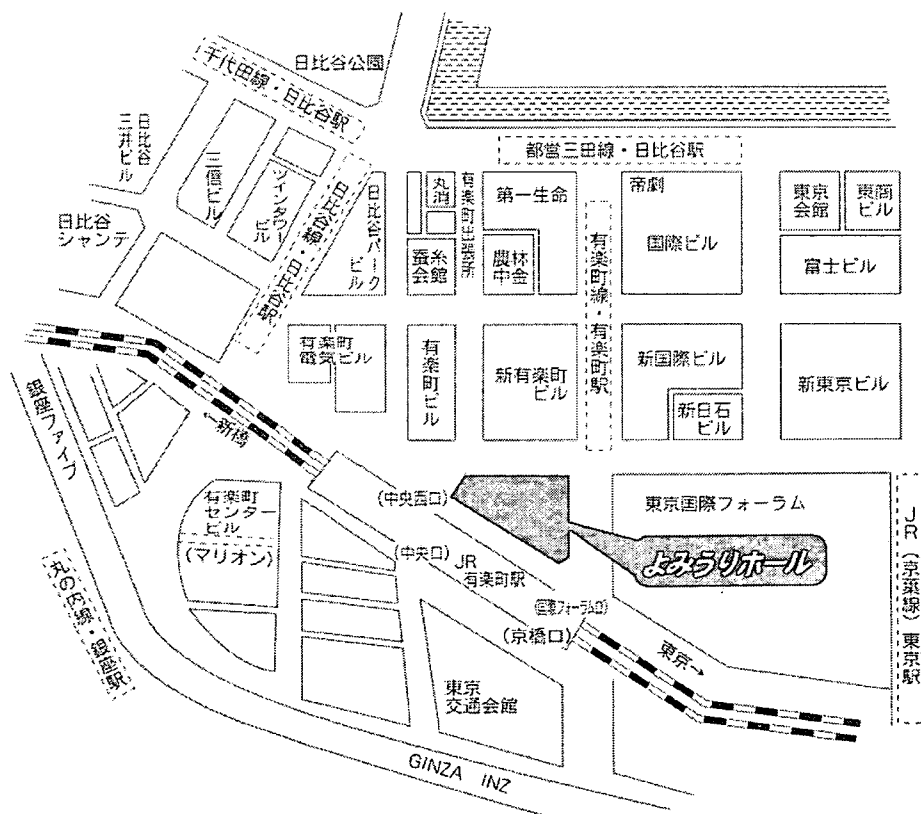
(会場：有楽町よみうりホール)

 2月15日(金)

- 18:00-18:10 開会挨拶
- 18:10-19:30 第1部 特別講演  
特別講演1  
“Iron chelation therapy in myelodysplastic syndrome”  
Stuart L Goldberg (Hackensack University Medical Center, USA)
- 特別講演2  
“Non-invasive measurement of body iron”  
John K Olynyk (University of Western Australia, Australia)
- 19:30-21:00 レセプション (東京會館にて)  
※班会議のクロージングパーティーを兼ねるレセプションは、シンポジウム会場で  
記帳登録していただくことで、自動的に無料にて御参加いただけます。必ず御登録  
下さいますよう御協力をお願いいたします。

 2月16日(土)

- 8:30- 9:45 第2部 鉄代謝分子機構研究の新展開
- 9:45-11:05 第3部 骨髄不全と鉄過剰
- 11:25-12:25 第4部 Biolron研究の将来展望
- 12:25-12:30 閉会挨拶
- 
- 14:00-16:30 市民公開講座「鉄と上手に付き合って健康に」





# Biolron2007京都 フォローアップ シンポジウム

## 「Biolron 研究の新時代」 New Era of Biolron Research -a follow up symposium of Biolron2007 京都-

平成20年2月15日(金)／16日(土)  
東京都(有楽町よみうりホール)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-11-1 読売会館7階  
TEL 03-3231-0551 FAX 03-3231-4847

### 主催

内閣府日本学術会議  
日本鉄バイオサイエンス学会  
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)  
「特発性造血障害に関する調査研究」班

### 協賛(ゴールドスポンサー)

エーザイ株式会社  
ノバルティス ファーマ株式会社

### 第一日

平成20年2月15日(金) 18:00~19:30

18:00 - 18:10

#### 開会挨拶

日本学術会議副会長 浅島 誠(東京大学 副学長) [予定]  
日本鉄バイオサイエンス学会会長 高後 裕(旭川医科大学 教授)  
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)  
「特発性造血障害に関する調査研究」班 班長 小澤 敬也(自治医科大学 教授)

18:10 - 19:30

#### 第一部 特別講演(同時通訳あり)

司会 高久 史磨(自治医科大学 学長)

##### 特別講演 1 (40分)

"Iron chelation therapy in myelodysplastic syndrome"

Stuart L Goldberg  
(Hackensack University Medical Center 教授)

##### 特別講演 2 (40分)

"Non-invasive measurement of Body Iron"  
John K Olynyk  
(University of Western Australia 教授)

19:30~21:00

レセプション (東京會館)

### 第二日

平成20年2月16日(土) 8:30~12:30

8:30 - 9:45

#### 第二部 鉄代謝分子機構研究の新展開

司会 新津洋司郎(札幌医科大学 教授)  
岸 文雄(川崎医科大学 教授)

1. Membrane Iron Transporter研究の進歩(35分)  
Hiromi Gunshin (University of Massachusetts 准教授)
2. ヘプシジンと腎性貧血、最新の知見(20分)  
友杉 直久(金沢医科大学 教授)
3. Lipocalin, mammalian siderophoreと鉄代謝(20分)  
森 潔 (京都大学 講師)

9:45 - 11:05

#### 第三部 骨髄不全と鉄過剰

司会 澤田 賢一(秋田大学 教授)  
浦部 晶夫(NTT関東病院 予防医学センター長)

1. 赤血球造血と鉄代謝異常(20分)  
高後 裕 (旭川医科大学 教授)
2. ミトコンドリアヘム鉄代謝異常と鉄芽球性貧血(20分)  
張替 秀郎(東北大学 教授)
3. 我が国における骨髄不全と輸血後鉄過剰(20分)  
中尾 眞二(金沢大学 教授)
4. 鉄キレート療法の進歩と適正使用ガイドライン(20分)  
小澤 敬也(自治医科大学 教授)

11:05 - 11:25 休憩 (コーヒープレーク)

11:25 - 12:25

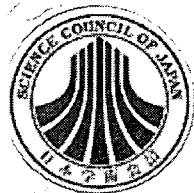
#### 第四部 Biolron研究の将来展望

司会 岡田 茂(岡山大学 教授)  
西田 雄三(山形大学 教授)

1. 肝炎・肝がんと鉄制御(20分)  
加藤 淳二(札幌医科大学 准教授)
2. 胸膜中皮腫とアスベスト・鉄発癌(20分)  
豊國 伸哉(京都大学 准教授)
3. 神経変性疾患と鉄代謝(20分)  
宮嶋 裕明(浜松医科大学 准教授)

12:25 - 12:30

閉会 Biolron2007京都フォローアップシンポジウム  
代表世話人 高後 裕



**入場無料**  
事前登録不要

# 市民公開講座

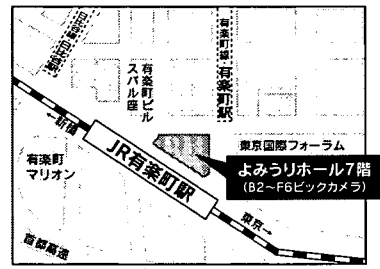
どなたでもお気軽にお越しください

主催 内閣府日本学術会議 / 日本鉄バイオサイエンス学会 /  
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「特発性造血障害に関する調査研究」班

## 「鉄と上手に付き合って健康に」

平成20年2月16日(土) 14:00~16:30  
有楽町よみうりホール(東京都)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-11-1 読売会館7階(B2階~6階 ビックカメラ)  
TEL 03-3231-0551 FAX 03-3231-4847  
お問い合わせ先: 株式会社サンブラネット 〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 ニッセイ音羽ビル1階  
TEL.03-5940-2610 FAX.03-3942-6936



●JR有楽町駅前 徒歩1分

**趣旨説明** 日本鉄バイオサイエンス学会会長 高後 裕(旭川医科大学 教授)

講演  
**1**

司会 齊藤 宏 (河村病院 顧問)  
「見逃されてきた鉄欠乏性貧血 — 診断と治療」  
内田 立身 (香川県赤十字血液センター 所長)

講演  
**2**

司会 林 久男 (愛知学院大学 教授)  
「鉄と生活習慣病 — 上手に付き合って健康に」  
岡田 茂 (岡山大学 教授)

講演  
**3**

司会 溝口 秀昭 (埼玉県赤十字血液センター 所長)  
「難治性貧血と鉄過剰 — 新しい治療法」  
大屋敷一馬 (東京医科大学 教授)

## VII. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中尾眞二	骨髄不全におけるキレート療法	大屋敷一馬 小澤敬也 高後 裕 中尾眞二	Iron Overload と鉄キレート療法	メディカルレビュー社	日本	2007	191-199
中尾眞二	再生不良性貧血	押味和夫 長澤俊郎 小松則夫	専門医のための薬物療法 Q&A 血液	中外医学社	日本	2007	9-24
中尾眞二	再生不良性貧血に対する造血幹細胞移植療法の適応	押味和夫 別所正美 岡本真一郎 加藤 淳	EBM 血液疾患の治療	中外医学社	日本	2007	34-38
澤田賢一	難治再発性赤芽球癆の治療方針は？	押味和夫 別所正美 岡本真一郎 加藤淳	E B M血液疾患の治療	中外医学社	日本	2007	79-82
澤田賢一	骨髄不全症候群 1. 再生不良性貧血 2. 骨髄異形成症候群 3. 発作性夜間ヘモグロビン尿症 4. 赤芽球癆	押味和夫	カラーテキスト血液病学	中外医学社	日本	2007	251-271
澤田賢一 廣川誠	赤芽球癆	押味和夫 長澤俊郎 小松則夫	専門医のための薬物療法 Q&A	中外医学社	日本	2007	25-37
澤田賢一	鉄と炎症	大屋敷一馬 小澤敬也 高後裕 中尾眞二	Iron Overload と鉄キレート療法	メディカルレビュー社	日本	2007	95-103
澤田賢一	赤芽球癆	山口徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療指針	医学書院	日本	2007	464-465
澤田賢一	再生不良性貧血	山口徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療指針	医学書院	日本	2008	489-491
松村 到 金倉 讓	造血のしくみ	杉本恒明 矢崎義雄	内科学 第9版	朝倉書店	日本	2007	1555-1559
西村純一 金倉 讓	発作性夜間ヘモグロビン尿症のクローン拡大の機序	高久史麿 溝口秀昭 坂田洋一 金倉 讓 小島勢二	Annual Review 血液2007	中外医学社	日本	2007	69-77

亀崎豊実, 梶井英治.	自己免疫性溶血性 貧血	宮本昭正	臨床アレルギー 一学	南江堂	日本	2007	564-566
亀崎豊実	ステロイド不応性( 不耐性も含む)の温 式抗体による自己 免疫性溶血性貧血 の治療は?	押見和夫 別所正美 岡本慎一郎 加藤淳	EBM血液疾患 の治療2008- 2009	中外医学 社	日本	2007	12-17
波多智子 朝長万左 男	海外における鉄過 剰症の診断と治療 のガイドライン	堀田知光、 押味和夫	Iron Overload と鉄キレート 療法	メディカ ルレビュー	日本	2007	179-183
村手 隆	真性赤血球増加症 の治療方針は?	押味和夫、 別所正美、 岡本真一郎 加藤淳	EBM 血液疾 患の治療	中外医学 社	日本	2007	91-95
荒関かや の 高橋直樹 松田晃	骨髄異形成症候群	押見和夫、 長澤俊郎、 小松則夫	専門医のため の薬物療法 Q&A	中外医学 社	日本	2007	67-82
松田晃	初回免疫抑制療法 無効の再生不良性 貧血に対する治療 方針は?	押見和夫、 別所正美、 岡本真一郎 、加藤淳	2008-2009 EBM 血液疾 患の治療	中外医学 社	日本	2007	27-33
通山薫	骨髄異形成症候群	山口 徹、 北原光夫、 福井次矢	今日の治療指 針	医学書院	日本	2007	468-469
通山薫	赤血球系の疾患 10.骨髄異形成症候 群に対する新規薬 物療法は?	押味和夫、 別所正美、 岡本真一郎 加藤 淳	EBM血液疾患 の治療 2008-2009	中外医学 社	日本	2007	50-53
通山薫	血液・造血器疾患 7. 骨髄異形成症 候群	井村裕夫	わかりやすい 内科学第3版	文光堂	日本	2008	324-326
山下孝之	Fanconi貧血の病態 の新たな展開	高久文磨 溝口秀昭 坂田洋一 金倉 讓 小島勢二	Annual Review 血液	中外医学 社	東京	2007	62-68
小澤敬也	国内における鉄過 剰症の診断と治療 のガイドライン	堀田知光 押見和夫	Iron Overload と鉄キレート 療法	メディカ ルレビュー	日本	2007	185-189

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
澤田賢一	赤芽球癆の病態治療選択	Current Therapy	25	214-217	2007
澤田賢一	貧血, 血液疾患診療に役 立つ実践マニュアル	Modern Physician	27	486-490	2007
廣川誠 澤田賢一	赤芽球癆の治療	Mebio	25	30-36	2008

金倉 讓	総論：血液疾患領域の最近の進歩-分子病態に基づく診断と治療-	BIO Clinica	22(4)	16-17	2007
松村 到 金倉 讓	造血器腫瘍に対するファルネシルトランスフェラーゼ阻害剤の臨床応用	医学のあゆみ	220(9)	765-770	2007
松村 到 金倉 讓	Hyper Eoninophilic Sndrome：病態と治療	Bio Clinica	22(7)	68-73	2007
松村 到 金倉 讓	造血幹細胞を制御するシグナル伝達分子	血液・腫瘍科	54(6)	635-640	2007
松村 到 金倉 讓	新しい血小板増多因子	血液フロンティア	17(9)	106-112	2007
松村 到 金倉 讓	血球分化に伴う細胞周期制御とそのメカニズム	血液フロンティア	17(11)	43-50	2007
西村純一 金倉 讓	PNHの遺伝子異常	血液フロンティア	17(7)	88-95	2007
亀崎豊実 梶井英治.	血液疾患の免疫病態とその治療 自己免疫性溶血性貧血	血液・腫瘍科	55(6)	601-611	2007
朝長万左男	ターニングポイントをむかえたMDSの臨床-病態研究と薬物療法開発-	BIO Clinica	22	313-318	2007
宮崎泰司 福島卓也 朝長万左男	MDSに対する5-azacytidine治療	血液・腫瘍科	54	475-481	2007
村手 隆	スフィンゴ脂質代謝酵素遺伝子の転写調機序	生化学	79	1139-1143	2007
松田晃	骨髄異形成症候群における形態学的診断、分類、予後スコアリングシステムの新たな展開	臨床血液	48	1320-1327	2007
松田晃	形態異常を基盤とする不応性貧血の分類と予後	血液・腫瘍科	55	568-574	2007
通山薫	造血器腫瘍-基礎・臨床領域における最新の研究動向- 臨床編II. 診断法・診断と鑑別診断 「骨髄異形成症候群の診断と鑑別診断」	日本臨床	65巻 増刊号1	326-330	2007
通山薫	造血器腫瘍の分子標的療法 「骨髄異形成症候群に対するレナリドマイド療法」	医学のあゆみ	220(9)	721-725	2007
通山薫	骨髄系腫瘍化における5番染色体長腕欠失と $\alpha$ -カテニン (CTNNA1) 遺伝子のエピジェネティックな発現抑制	分子細胞治療	6(5)	490-491	2007



通山薫	第8回日本検査血液学会 学術集会・特別講演2「 骨髓異形成症候群—診断 と治療の進歩」	日本検査血液学会雑 誌	8巻	375-382	2007
田坂大象, 通山薫	DATAで読み解く内科疾 患 81.骨髓異形成症候 群	総合臨床	56(増刊 号)	1402-1408	2007
Takatoku M., Uchiyama T., Okamoto S., Kanakura Y., Sawada K., Tomonaga M., Nakao S., Nakahata T., Harada M., Murate T., Ozawa K.	Retrospective nationwide survey of Japanese patients with transfusion-dependent MDS and aplastic anaemia highlights the negative impact of iron overload on morbidity/mortality.	Eur. J. Hematol.	78	487-494	2007
Oka S, Muroi K, Toshima M, Nagai T, Kanai N, Morita T, Ozawa K.	Amyloidosis and myelodysplastic syndrome.	Intern Med.	47	123-124	2008
Ozawa K, Sato K, Oh I, Ozaki K, Uchibori R, Obara Y, Kikuchi Y, Ito T, Okada T, Urabe M, Mizukami H, Kume A.	Cell and gene therapy using mesenchymal stem cells (MSCs).	J. Autoimmun.	30	121-127	2008
Ozaki, K., Sato, K., Oh, I., Meguro, A., Tatara, R., Muroi, K., Ozawa, K.	Mechanisms of immunomodulation by mesenchymal stem cells.	Int. J. Hematol.	86	5-7	2007
Tarumoto, T., Imagawa, S., Kobayashi, M., Hirayama, A., Ozawa, K., Nagasawa, T.	L-arginine administration reverses anemia associated with renal disease.	Int. J. Hematol.	86	126-129	2007

Kikuchi, J., Shimizu, R., Wada, T., Ando, H., Nakamura, M., Ozawa, K., Furukawa, Y.	E2F-6 suppresses growth-associated apoptosis of human hematopoietic progenitor cells by counteracting proapoptotic activity of E2F-1.	Stem Cells	25	2439-2447	2007
Uchida M, Kirito K, Endo H, Ozawa K, Komatsu N.	Activation of FKHL1 plays an important role in protecting erythroid cells from erythropoietin deprivation-induced apoptosis in a human erythropoietin-dependent leukemia cell line, UT-7/EPO.	Int. J. Hematol.	86	315-324	2007
Chuhjo, T., Yamazaki, H., Omine, M., Nakao, S.	Danazol therapy for aplastic anemia refractory to immunosuppressive therapy.	Am J Hematol.			in press
Ishikawa, T., Tohyama, K., Nakao, S., Yoshida, Y., Teramura, M., Motoji, T., Takatoku, M., Kurokawa, M., Mitani, K., Uchiyama, T., Omine, M.	A prospective study of cyclosporine A treatment of patients with low-risk myelodysplastic syndrome: presence of CD55(-) CD59(-) blood cells predicts platelet response.	Int J Hematol.	86	150-157	2007
Nishio, M., Endo, T., Nakao, S., Sato, N., Koike, T.	Reversible cardiomyopathy due to secondary hemochromatosis with multitransfusions for severe aplastic anemia after successful non-myeloablative stem cell transplantation.	Int J Cardiol.			in press
Okumura, H., Yamaguchi, M., Kotani, T., Sugimori, N., Sugimori, C., Ozaki, J., Kondo, Y., Yamazaki, H., Chuhjo, T., Takami, A., Ueda, M., Ohtake, S., Nakao, S.	Graft rejection and hyperacute graft-versus-host disease in stem cell transplantation from non-inherited maternal-antigen-complementary HLA-mismatched siblings.	Eur J Haematol.	78	157-160	2007

Sugimori, C., Yamazaki, H., Feng, X., Mochizuki, K., Kondo, Y., Takami, A., Chuhjo, T., Kimura, A., Teramura, M., Mizoguchi, H., Omine, M., Nakao, S.	Roles of DRB1 *1501 and DRB1 *1502 in the pathogenesis of aplastic anemia.	Exp Hematol.	35	13-20	2007
Teramura, M., Kimura, A., Iwase, S., Yonemura, Y., Nakao, S., Urabe, A., Omine, M., Mizoguchi, H.	Treatment of severe aplastic anemia with antithymocyte globulin and cyclosporin A with or without G-CSF in adults: a multicenter randomized study in Japan.	Blood	110	1756-1761	2007
Yamazaki, H., Sugimori, C., Chuhjo, T., Nakao, S.	Cyclosporine therapy for acquired aplastic anemia: predictive factors for the response and long-term prognosis.	Int J Hematol.	85	186-190	2007
Fujishima, N., Hirokawa, M., Fujishima, M., Wada, C., Toyoshima, I., Watanabe, S., Sawada, K.	Oligoclonal T cell expansion in blood but not in the thymus from a patient with thymoma-associated pure red cell aplasia.	Haematologica	91	ECR47	2006
Sawada, K., Hirokawa, M., Fujishima, N., Teramura, M., Bessho, M., Dan, K., Tsurumi, H., Nakao, S., Urabe, A., Omine, M., Ozawa, K.	Long-term outcome of patients with acquired primary idiopathic pure red cell aplasia receiving cyclosporine A. A nationwide cohort study in Japan for the PRCA collaborative study group.	Haematologica	92	1021-1028	2007
Hirokawa, M., Sawada, K., Fujishima, N., Nakao, S., Urabe, A., Dan, K., Fujisawa, S., Yonemura, Y., Kawano, F., Omine, M., Ozawa, K.	Long-Term response and outcome following immunosuppressive therapy in thymoma-associated pure red cell aplasia: a nationwide cohort study in Japan for the PRCA collaborative study group.	Haematologica	93	27-33	2008

Masaie, H., Oritani, K., Yokota, T., Takahashi, I., Shirogane, T., Ujiie, H., Ichii, M., Saitoh, N., Maeda, T., Tanigawa, R., Oka, K., Hoshida, Y., Tomiyama, Y., Kanakura, Y.	Adiponectin binds to chemokines via the globular head and modulates interactions between chemokines and heparan sulfates.	Exp. Hematol.	35(6)	947-956	2007
Ishiko, J., Mizuki, M., Yasumi, M., Ujiie, H., Nakamichi, I., Aozasa, K., Kanakura, Y.	An indolent subtype of "intravascular lymphoma": A case with a 3-year history of LDH elevation.	Leuk. Lymphoma	48(9)	1872-1874	2007
Nakamichi, I., Tomita, Y., Zhang, B., Sugiyama, H., Kanakura, Y., Fukuhara, S., Hino, M., Kanamaru, A., Ogawa, H., Aozasa, K.	Correlation between promoter hypermethylation of GSTP1 and response to chemotherapy in diffuse large B cell lymphoma.	Ann. Hematol.	86(8)	557-564	2007
Nojima, J., Sakudo, A., Hakariya, Y., Kuratsune, H., Watanabe, Y., Kanakura, Y., Ikuta, K.	Spectroscopic diagnosis of anti-phospholipid antibodies by visible and near-infrared spectroscopy in SLE patients' plasma samples.	Biochem. Biophys. Res. Commun.	362(2)	522-524	2007
Yamauchi, A., Fujita, S., Ikeda, J., Nakamichi, I., Fukuhara, S., Hino, M., Kanakura, Y., Ogawa, H., Sugiyama, H., Kanamaru, A., Aozasa, K.	Diffuse large B-cell lymphoma in the young in Japan: A study by the Osaka Lymphoma Study Group.	Am. J. Hematol.	82(10)	893-897	2007
Tanaka, H., Matsumura, I., Kanakura, Y.	Potential target molecules for ex vivo expansion of hematopoietic stem cells and their roles in normal hematopoiesis.	J. Stem. Cells.	2(3)	167-183	2007